

容易な耐震診断調査票

調査日時	令和 年 月 日	木造住宅の調査を行った方の氏名と調査日を記入してください。
調査者氏名		
I) 建築物の概要		
1 建築物の所有者		
2 建築物所在地	豊橋市	
3 階数	<input type="checkbox"/> 平家建て <input type="checkbox"/> 2階建て 該当する項目にチェックしてください。	
II) 前提条件の確認 全て該当する必要があります。		
1 構造・用途	<input type="checkbox"/> 木造の住宅であること	
2 建築年月日	<input type="checkbox"/> 昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した	
	<input type="checkbox"/> 【添付】木造住宅、建築年数が確認できる書類 (例)家屋証明書、納税通知書、登記簿の写しなど	
III) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目		
1つでも該当した場合は、 倒壊の危険性がある ため、木造住宅解体工事費補助の対象となります。		
<input type="checkbox"/> 【添付】危険性の状況を確認できる写真 (1) 撮影した危険箇所が建物のどの部分か判断できる写真 (2) その危険箇所の危険性が判断できる拡大写真 ※ 写真には下記該当部分を○で囲む		
建物全体	<input type="checkbox"/> 全体又は一部に崩壊がある	
	<input type="checkbox"/> 全体又は一部に傾斜や変形がある	
地盤・基礎	<input type="checkbox"/> 地盤沈下が生じている	
	<input type="checkbox"/> 基礎がコンクリート以外（玉石、石積み、ブロック等）である	
	<input type="checkbox"/> 基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる	
老朽・腐朽	<input type="checkbox"/> 柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある	
	<input type="checkbox"/> 柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽がみられる	
	<input type="checkbox"/> 柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損がみられる	
IV) 壁の割合 III) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目に該当がない場合		
<input type="checkbox"/> 壁の割合計算表（割合が0.8未満）		
※ 記入方法について疑問がある場合は、建物の図面を用意して、市役所にご相談ください。		

お問い合わせ先 ☎ 0532-51-2579 豊橋市建築物安全推進課（豊橋市役所3階）

市役所記入欄	倒壊の危険性	確認年月日	担当者
	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し	令和 年 月 日	

壁割合算定表

壁の割合

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ 壁の割合
方向	壁の長さ (m)	建面 (㎡)	イ/ロ	必要値	ハ/ニ
X	①				
Y	②				

(イ) 壁の長さの合計

① X (横) 方向

② Y (縦) 方向

①

m

②

m

①②のうち小さいほうを記入してください。

イ

m

(ロ) 面積

□

㎡

(ハ) 単位面積あたりの壁の長さ

イ

÷

□

=

ハ

(ニ) 必要な壁の長さ

ニ

m

下の表から該当するものを選んで記入してください。

	平 家	2階建
軽い屋根 (鉄板葺・石綿板葺・スレート葺等)	0. 2 0	0. 5 2
重い屋根 (かや葺・瓦葺等)	0. 2 7	0. 5 9

(ホ) 壁の割合

ハ

÷

ニ

=

ホ

IV) 壁の割合 記入用紙

壁の長さの計測

